

映画「家族を想うとき」で考える 格差社会の現状と課題

新型コロナウイルス感染症の影響は社会的弱者により大きくのしかかっています。その結果は女性の自殺率の増大などに現れています。「自己責任」が強く求められる市場競争社会の中で、社会の分断や格差の固定、貧困の連鎖といった負のスパイラルは、さらに拡大しています。私たちは貧困問題に取り組んできましたが、社会を覆う「貧困は自己責任」という考え方を克服できていません。

今回、あらためて「格差社会」の現状を確認し、安心して暮らせる社会、誰もが排除されることがなく「居場所」や「抛り所」のある社会、「助け合い、支え合い」を理念とする「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現に向け、セミナーを開催します。

【日時】 2021年2月27日(土) 10:00~12:00

【会場】 ホテルニューオータニ長岡 NCホール
長岡市台町2-8-35 (駐車場料金は自己負担です)

【定員】 150人(先着順・感染予防のため会場定員の半数以下にしています。)

参加料

無料

映画上映 「家族を想うとき」(100分)

映画紹介: 2016年カンヌ国際映画祭でパルムドールに輝き、日本でも大ヒットを記録した『わたしは、ダニエル・ブレイク』。この傑作を最後に、一度は表舞台から降りたケン・ローチ監督。だが、同作のリリース中に社会の底辺で目の当たりにした〈現実〉が彼の心の中に生き続け、いつしか〈別のテーマ〉として立ち上がり、どうしても撮らなければならないという使命へと駆り立てた。引退表明を撤回した名匠が最新作で描いたのは、グローバル経済が加速している〈今〉、世界のあちこちで起きている〈働き方問題〉と、急激な時代の変化に翻弄される〈現代家族の姿〉だ。

活動報告 NPO法人女のスペース・ながおか NPO法人フードバンクにいがた長岡センター

- * 当日会場入り口で、フードバンクによるフードドライブを行います。
- * 当日の午後は第2部『「協同労働」～「労働者協同組合法」で何が変わる、何ができる～』を開催します。(申込は別途必要です。)

新型コロナウイルス感染症拡大防止についてのご協力のお願い

- ①会場内ではマスクを着用してください。②会場内の消毒液による手指の消毒にご協力ください。
- ③下記に該当する場合は参加をお控えください。
 - ・発熱や咳、のどの痛みなどがある場合。* 当日、自宅及び会場入り口での検温をお願いします。
 - ・新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の経過観察に該当されている方。
 - ・県外在住の方。
- ④参加者同士の密接を避けるため、参加人数に応じて座席を指定させていただきます場合があります。
 - * 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止する場合があります。
 - * 中止等の連絡のため、申込時に連絡先をお伝えください。

ながおかワーク&ライフセミナー主催団体 : 長岡地区労働者福祉協議会

共催 (一財)新潟ろうきん福祉財団・(一社)新潟県労働者福祉協議会

後援 長岡市・長岡市教育委員会 運営協力 長岡アジア映画祭実行委員会!

この事業は一般財団法人新潟ろうきん福祉財団の公益支出事業を主たる財源として開催します。

お申込み
お問い合わせ

TEL

0258-86-0111 (平日:9:00~17:00)

FAX

0258-86-0884

MAIL

rengo.c@topaz.ocn.ne.jp

参加案内をはがき又はメールでお送りしますので、当日会場でご提示ください。

(事務局:連合中越地域協議会)

『わたしは、ダニエル・ブレイク』のケン・ローチ監督最新作

家族を守るはずの仕事が、家族を引き裂いてゆく——
それでも負けない気高く力強い家族の絆を描く感動作

家族を想うとき

Sorry We Missed You

2020 **ながおか**
ワーク&ライフセミナー
2021年2月27日(土)

〈今〉を生きる私たちを吹き飛ばそうとする嵐に、
名匠が再び正面から立ち向かう

監督:ケン・ローチ『わたしは、ダニエル・ブレイク』『ジミー、野を駆ける伝説』
脚本:ポール・ラヴァティ『わたしは、ダニエル・ブレイク』『ジミー、野を駆ける伝説』
出演:クリス・ヒッチェン、デビー・ハニーウッド、リス・ストーン、ケイティ・プロクター
2019年/イギリス・フランス・ベルギー/英語/100分/アメリカンビスタ/カラー/5.1ch/
原題:Sorry We Missed You/日本語字幕:石田泰子
提供:バップ、ロングライド 配給:ロングライド

photo: Joss Barratt, Sixteen Films 2019